

痛みの脳内機構とニューロリハビリテーション～東京会場～

主催	株式会社 gene
日時	2017年5月21日（日）10：00～16：00（受付9：30～）
場所	株式会社 東京証券会館 8階 ホール 東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8
ねらい	痛みを感じるとはどういうこと？！ そのシステムを明らかにし、リハビリテーションに活かす方法とは？
内容	<p>【講義概要】 患肢の不使用が長引くと、感覚入力や運動出力が減少し、それに伴い対応する脳内の体部位再現領域が狭小化する。この狭小化の程度と痛みの強さは相関する。このように、慢性痛と脳の機能不全には関連がみられ、それに対するニューロリハビリテーションが積極的に開発されている。</p> <p>痛みが慢性化すると末梢の原因よりも、脳の機能不全の様相が強くなる。これが痛みの認知的あるいは情動的側面である。例えば後頭頂葉が機能不全をきたすと、身体イメージ低下といった neglect-like syndrome を引き起こす。一方、島皮質、前帯状回、内側前頭前野は疼痛の情動的側面に関与する。現に、社会的痛み（心の痛み）を感じた場合にも活性化する。特に疼痛の主観的強度とこれら活動は強い相関を示す。こうした領域が過活動を起こすと、それを制御する背外側前頭前野の機能不全につながり、それに伴ううつ等の精神症状を引き起こし、それにより慢性化が継続するといった悪循環が考察されている。このように疼痛の認知的あるいは情動的側面は、慢性的な脳の機能不全として捉えられる。</p> <p>したがって、これら脳機能を再組織化させて行くニューロリハビリテーションが必要であることは言うまでもない。</p> <p>本講演では痛みおよび鎮痛の脳内機構を解説し、神経科学に基づいた痛みのニューロリハビリテーションの具体例を示して行く。</p> <p>【本セミナーについて】 会場はホールとなっておりますので、バインダーをお持ち下さい。（机・テーブルなし）</p>
講師	森岡 周 先生 畿央大学 健康科学部 理学療法学科 教授・理学療法士
対象	作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・その他
参加費	12,500 円（税込）
申込方法	株式会社 gene ホームページ （ http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1482824318-227734 ）より
申込期限	開催日前日まで
問い合わせ先	株式会社 g e n e 〒462-0059 名古屋市北区駒止町 2-52 リベルテ黒川 1 階 TEL：052-911-2800（セミナー担当まで） URL： www.gene-llc.jp
その他	1) 受講料は、当日会場にてお支払い下さい。 2) 開催日を含め 7 日前からのキャンセルについては、キャンセル料（受講料全額）が発生いたします。